

むすび

ここに論じたような知性的感覚は、曖昧模糊とした日本人一般のそれではなく、厳密な近代西欧人のそれに近いものである、といひ得る。近代に至って寺田寅彦博士や鈴木梅太郎博士らによって、開花したような面にお

る、科学研究において、数学的に解析することの困難なようなデリケートな現象に取りくむ日本人独得の研究の世界の萌芽が、これらの精神的態度においてあざやかに観取される。

日本気象学会昭和60年春季大会の告示

1. 期 日 5月22日(水)~24日(金)
2. 会 場 気象庁
(東京都千代田区大手町 1-3-4)
TEL. 03-212-8341 内線 283
3. 研究発表
- 1) 講演申込・予稿原稿の締切 3月23日(土) 必着
期限厳守のこと
- 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁
電子計算室内 講演企画委員会
(岩崎俊樹)
- 3) 様式: 本号挿入の申込用紙に記入, 予稿原稿を添えて申し込むこと. 原稿用紙は本誌挿入のものを使用すること. 詳細は次頁の講演予稿集原稿の書き方をご覧ください.
- 4) 講演時間: 討論を含め12分程度
講演時間は事情により短縮されることがあります.
- シンポジウム
テーマは未定

講演企画委員会からのお知らせ

講演申込様式の変更について

気象学会大会の講演申込み様式を変更致しました。主なる変更は以下の通りです。

1. 希望部門の分類の変更

応用気象, 気象測器を同一大項目に合併。

中項目の一部変更。

小項目の廃止。

この変更はプログラム編成作業を能率良く行う目的からです。

2. 申込み数の制限

従来は1人(連名の場合は同一講演者)で申し込める講演数は2件以内の制限のみでした。今回から同一中項目には2件は同時に申し込めないとの制限を追加しました。大会は3会場3日という方式を継続せざる

を得ない状況です。御協力お願い致します。なお参考までに最近5年間の申し込み数を示します。

1980年春(東京)	212件
1980年秋(大阪)	245
1981年春(東京)	236
1981年秋(名古屋)	236
1982年春(東京)	202
1982年秋(札幌)	195
1983年春(筑波)	242
1983年秋(仙台)	235
1984年春(東京)	235
1984年秋(福岡)	198

求人・求職コーナー

求人・求職の申し込み, 形式等については31巻604頁(9月号)をご覧ください。

求職に対する照会及び問い合わせ先: 〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内 日本気象学会「天気」編集委員会事務局
TEL. (03) 212-8341 内線 469

(求 職)

S 1 教職又は研究開発希望, 地域不問, 地球物理学攻, 教員免許(理科・数学), 大学院卒, パソ

コンプログラム技術コンテスト入賞経験あり, 35歳, 男。